

判

決

訴訟代理人弁理士

同

同

同

同

被告

指定代理人

同同

可同

同

可同

同 十

特許店が異議？

2 訴訟費用は原告の負担とする。

事実及び理由

(1) 主文 1 項と同旨。

(2) 訴訟費用は被告の負担とする。

2 当事者間に争いのない事実

(1) 特許庁における手続の経緯

本件特許に対し、請求項 1 及び 2 につき、特許異議の申立てがあり、その申

(2) 決定の理由

(2) 決定の理由

(3) 原告は、本訴係属中の平成14年11月18日、本件特許の出願の願書に添

(4) 訂正審決による訂正の内容のうち、特許請求の範囲に係る部分は、次のとおり

(ア) 訂正審決による訂正前の本件特許の特許請求の範囲

(ア) 訂正審決による訂正前の本件特許の特許請求の範囲

【請求項 2】 前記導電性シートが、前記炭素フィブリルの形状の充填材を含

【請求項 2】 前記導電性シートが、前記炭素フィブリルの形状の充填材を含

む電気絶縁性材料から製造される請求の範囲第1項に記載の導電性シート。」

(イ) 訂正審決による訂正後の特許請求の範囲(下線部が訂正された箇所である。)

「【請求項1】直径0.0035～0.5 μ mで長さが直径の少なくとも5倍以上である中空状の炭素フィブリルを10～50重量%含有して成り、厚みが10 μ m以上200 μ m以下である電池用集電体シートであって、該炭素フィブリルは規則配列した黒鉛状炭素原子の連続的な多重層からなる外側領域と、0.002 μ mより大きい直径の中空状の内側コア領域からなり、該内側コア領域がフィブリルの中心線に沿って外側領域と同心に配置された該外側領域の炭素原子ほど規則的ではない炭素原子を含んでおり、該炭素フィブリルが電気絶縁性高分子材料中に分散しておりかつ該シート面に平行に配列している炭素フィブリルを含むことを特徴とする電池用集電体シート。

【請求項2】前記電池用集電体シートが、前記炭素フィブリルの形状の充填材を含む電気絶縁性材料から製造される請求の範囲第1項に記載の電池用集電体シート。」

3 当裁判所の判断

上記当事者間に争いのない事実によれば、本件特許については、特許法29条2項の規定に違反して登録された特許であることを理由に特許を取り消した決定の取消しを求める訴訟の係属中に、当該特許に係る特許請求の範囲の減縮を含む訂正の審決が確定したということになり、決定は、結果として、判断の対象となるべき発明の要旨の認定を誤ったものとなる。この誤りが決定の結論に影響を及ぼすことは明らかである。したがって、決定は取消しを免れない。

4 以上によれば、本訴請求は理由がある。そこで、これを認容し、訴訟費用の負担については、原告に負担させるのを相当と認め、行政事件訴訟法7条、民事訴訟法62条を適用して、主文のとおり判決する。

東京高等裁判所第6民事部

裁判長裁判官 山 下 和 明

裁判官 設 樂 隆 一

裁判官 高 瀬 順 久